



きた

2023

9

月号

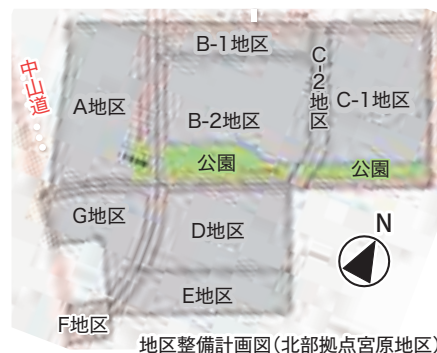


令和5(2023)年4月、北区は誕生して20年を迎えました。そこで、今年度は北区役所と周辺の変遷や、北区誕生以来、区民の皆さんとともに作り上げてきた協働のシンボルとも言える事業などを特集しています。

この20年の歩みを振り返ってみましょう。



整然とした区画のノーザンハートきたまちと緑豊かな街路



昭和30(1955)年頃の富士重工業(株)大宮製作所

ニューシャトル加茂宮駅から5分程歩くと、北区役所を含む整然とした街並みが広がっています。それが“ノーザンハートきたまち”です。

かつてここは、広大な富士重工業(株)(現・(株)SUBARU)大宮製作所が立地する土地でした。その跡地を中心に職住が一体で、旧大宮市北部の拠点となるまちを目指して、行政、地権者、地域住民の三者が協力し、再開発に着手しました。A・E地区は公共施設地区、B-1・2地区は中央商業地区、C-1地区は住宅地区など、各地区の用途を計画していたため、平成16(2004)年のまちびらき以降も、各地区の整備が進み、着実に発展してきました。そして、当初の計画のとおり、現在ではさいたま市北部の拠点として成長を続けています。

このような成り立ちから、“ノーザンハートきたまち”には、ステラタウンを始めとする商業施設、公園、行政機関、住居や医療施設など多種多様な機能が集約されました。ここに住む人はもちろん、ショッピングモールでの買い物客や、公園で遊ぶ家族連れなどでいつもにぎわい、人々が集う魅力あるまちとなりました。

問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 ☎669・6161